



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月1日

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8129 URL <http://www.tohohd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱田 矩男
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 管理部門担当 (氏名)荻野 守 (TEL)03(3419)7893
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	939,238	△3.2	11,298	△21.2	15,740	△16.3	10,140	△1.8
28年3月期第3四半期	970,279	10.5	14,336	81.5	18,798	51.9	10,330	△6.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 12,042百万円(△17.2%) 28年3月期第3四半期 14,546百万円(20.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	147.69	134.26
28年3月期第3四半期	150.06	136.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	657,686	184,948	28.1
28年3月期	642,698	174,656	27.2

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 184,871百万円 28年3月期 174,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
29年3月期	—	15.00	—		
29年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,235,000	△5.6	13,500	△52.8	18,900	△45.2	12,400	△43.0	180.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	78,270,142株	28年3月期	78,270,142株
29年3月期3Q	9,517,948株	28年3月期	9,657,804株
29年3月期3Q	68,659,011株	28年3月期3Q	68,842,580株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成28年4月の市場拡大再算定の特例を含む7.8%の薬価基準引き下げやジェネリック医薬品のさらなる使用を促進する診療報酬の改定などの医療費抑制策が推進される中、医療・健康・介護分野に携わる企業集団として、引き続き顧客支援システム・サービスの提供や、地域包括ケアシステムの構築への貢献など、付加価値サービス型ビジネスモデルへの変革を推進いたしました。

昨年11月1日に発足した共創未来ファーマ株式会社については、12月に追補収載2成分3品目を発売し順調なスタートとなりました。顧客の需要に的確に対応する製造販売一体型のビジネススキームを確立し、高品質・高付加価値なジェネリック医薬品を中心に、医療用医薬品を安定的かつ合理的に提供することを目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高939,238百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益11,298百万円（前年同期比21.2%減）、経常利益15,740百万円（前年同期比16.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,140百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業では、抗がん剤等の新薬の実績寄与があったものの、薬価改定の影響やジェネリック医薬品の拡大、昨年度第2四半期以降に急成長したC型肝炎治療薬市場の縮小の影響がありました。このような状況のもと、当社独自の顧客支援システムの契約件数の拡大を図るとともに、経費の抑制を継続的に推進いたしました。

その結果、売上高は902,382百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益（営業利益）は11,067百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

調剤薬局事業については、平成28年4月の薬価改定及び調剤報酬改定による影響があり、店舗業務の標準化や本部への業務集約等による経費削減策を実施したものの、生産性改善の遅れにより、販売費及び一般管理費は増加しました。

その結果、売上高は71,748百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益（営業利益）は802百万円（前年同期比57.9%減）となりました。

治験施設支援事業では、売上高は279百万円（前年同期比30.5%減）、セグメント利益（営業利益）は92百万円（前年同期比58.3%減）、情報機器販売事業においては、売上高は1,130百万円（前年同期比26.8%増）、セグメント利益（営業利益）は12百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し、485,894百万円となりました。これは、現金及び預金が32,426百万円増加し、受取手形及び売掛金が27,310百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、171,791百万円となりました。これは、投資有価証券が5,282百万円増加し、のれんが1,504百万円減少したこと等によります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、657,686百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、428,152百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が20,223百万円増加し、未払法人税等が9,741百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.4%減少し、44,585百万円となりました。これは、長期借入金が1,471百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、472,737百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、184,948百万円となりました。これは、利益剰余金が8,084百万円、その他有価証券評価差額金が1,902百万円それぞれ増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月9日発表の平成29年3月期通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17百万円増加しております。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,531	63,958
受取手形及び売掛金	331,248	303,937
有価証券	613	-
商品及び製品	75,229	81,001
その他	36,517	37,359
貸倒引当金	△425	△361
流動資産合計	474,715	485,894
固定資産		
有形固定資産	84,569	84,480
無形固定資産		
のれん	6,722	5,217
その他	2,773	2,893
無形固定資産合計	9,495	8,111
投資その他の資産		
投資有価証券	65,846	71,128
その他	10,617	10,649
貸倒引当金	△2,546	△2,578
投資その他の資産合計	73,917	79,199
固定資産合計	167,983	171,791
資産合計	642,698	657,686

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	390,349	410,572
短期借入金	6,887	4,126
未払法人税等	10,451	710
賞与引当金	3,489	1,688
役員賞与引当金	76	56
返品調整引当金	453	377
厚生年金基金解散損失引当金	170	202
資産除去債務	5	8
その他	9,518	10,410
流動負債合計	421,401	428,152
固定負債		
社債	15,056	15,045
長期借入金	5,384	3,913
退職給付に係る負債	1,713	1,758
資産除去債務	1,095	1,074
負ののれん	75	55
その他	23,314	22,738
固定負債合計	46,639	44,585
負債合計	468,041	472,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	47,794	47,856
利益剰余金	115,938	124,023
自己株式	△16,287	△16,051
株主資本合計	158,094	166,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,764	22,666
土地再評価差額金	△4,269	△4,272
その他の包括利益累計額合計	16,495	18,394
新株予約権	67	76
純資産合計	174,656	184,948
負債純資産合計	642,698	657,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	970,279	939,238
売上原価	884,033	856,149
売上総利益	86,245	83,088
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	34,936	34,758
賞与引当金繰入額	1,651	1,666
役員賞与引当金繰入額	57	56
退職給付費用	186	179
福利厚生費	5,813	5,881
車両費	956	817
貸倒引当金繰入額	△39	49
減価償却費	3,494	3,317
のれん償却額	1,920	1,648
賃借料	5,216	5,221
租税公課	1,090	1,272
仮払消費税の未控除費用	4,066	3,996
その他	12,558	12,924
販売費及び一般管理費合計	71,909	71,790
営業利益	14,336	11,298
営業外収益		
受取利息	46	52
受取配当金	934	1,072
受取手数料	2,297	2,277
負ののれん償却額	19	19
持分法による投資利益	47	28
その他	1,724	1,606
営業外収益合計	5,070	5,057
営業外費用		
支払利息	154	72
不動産賃貸費用	347	412
その他	106	130
営業外費用合計	608	615
経常利益	18,798	15,740

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	153	153
その他	24	9
特別利益合計	177	162
特別損失		
固定資産処分損	285	149
投資有価証券評価損	1,219	-
減損損失	128	54
その他	5	82
特別損失合計	1,639	286
税金等調整前四半期純利益	17,336	15,617
法人税、住民税及び事業税	5,730	4,149
法人税等調整額	1,275	1,326
法人税等合計	7,006	5,476
四半期純利益	10,330	10,140
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,330	10,140

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	10,330	10,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,204	1,892
持分法適用会社に対する持分相当額	11	9
その他の包括利益合計	4,215	1,902
四半期包括利益	14,546	12,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,546	12,042
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	895,649	73,486	401	741	970,279	—	970,279
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	36,736	19	—	149	36,906	△36,906	—
計	932,386	73,505	401	891	1,007,185	△36,906	970,279
セグメント利益又は損失(△)	12,707	1,908	222	△113	14,724	△388	14,336

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	866,498	71,489	279	970	939,238	—	939,238
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	35,884	259	—	160	36,303	△36,303	—
計	902,382	71,748	279	1,130	975,541	△36,303	939,238
セグメント利益	11,067	802	92	12	11,974	△676	11,298

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。